



☆☆文化祭 SSH 探究、科学系クラブ、SSH生徒が展示・ポスター発表☆☆

化学部の実験には児童生徒が熱視線、生物部には 1503 人の参観者

7月4、5日の二日間、諏訪清陵高校・附属中学校を会場に文化祭(清陵祭)が一般公開されました。科学系クラブ5団体、数学・物理・化学・生物・天文気象部も1年間の課題探究の成果をポスターや実物を発表しました。

また、研究に初めて接する方にも興味をいただけるように、趣向を凝らした展示や体験ブースを設置しました。SSHコースの2、3年生は協力して3年生が1年間取組んだ「理数課題研究」の成果をポスター発表しました。



化学部の実験体験の様子



天文気象部プラネタリウム



数学研究会

清陵祭当日、**化学部**は継続研究「BZ 振動反応」の発表とともに、化学実験(スライム作り、ベッコウアメ作り等)の実演を行い、小中学生中心に多数の参観者が実験を体験して化学変化に基づいた現象に興味を持っていただきました。

天文気象部は継続研究「黒点観測」の発表及び「スプライト」に関する観測データの発表に加えて、今年は手製のプラネタリウムを使って星座の説明、日本の観測衛星のモデルを作成して、その働きの解説などを行いました。

生物部は、継続研究である「諏訪湖のプランクトンの季節変動」の発表に加えて、諏訪湖周辺の魚類を中心とした水生生物の展示、準備作成に数カ月かけた「透明標本」の展示と販売などを実施して、二日間で 1503 名の方に参観していただきました。

物理部は、自作のパソコンソフトの展示に加え、昨年に続き、部員が創意工夫して作成したルーブ・ゴールドバーク・マシン (Rube Goldberg machine)などを展示して参観者に楽しんでもらいました。

数学研究会は、参加者にも楽しめる数学クイズに加えて、複雑な形の多面体を作成して展示し、参観者の関心をひいていました。

1、2 学年全員が学習している「SSH 探究」では、課題探究の成果を論文にまとめて写真のように発表しました。玉川学園中学部・高等部の課題発表会の方法を参考にさせていただき、机にカラープラスチック板を養生テープで固定し、そこに論文を掲示しました。



SSH 探究(情報)論文発表

SSHコースの課題探究発表会会場では、現3年生が今年3月2日～6日に実施した海外科学セミナー(アラスカ研修)と1年間取組んだ課題探究の成果をポスター発表させていただきました。

参観者の皆さんから、時には厳しい質問を受けたじろぐこともあったようですが、多くの貴重なご助言を頂き感謝していました。課題研究の成果は論文にまとめ、現在研究収録を作成中ですが、文化祭では希望者にその別刷りを配布しました。

2日間で、数百人の方にご参観いただき、そのうち 212 名の方にポスターの評価を行って頂きました。表は評価が高い上位6点です(よくまとめられていると思う3作品を挙げていただき、1票1点として集計しました)。この中で、「みそのひみつにせまる」は、この夏、大阪で催されるスーパーサイエンス(SSH)全国生徒研究集会で本校代表として口頭発表及びポスター発表を実施する予定です。発表会では研究の成果を評価していただくと同時に全国203校のSSH指定校の高校生との交流を行い、どのような対象に課題を発見して研究に取り組んでいるかを交流し、夏休み後仲間に還元する予定です。

発表 タイトル	津波被害 軽減を目的とした 新型防波堤	大腸菌を防ぐ天然 の抗菌物質の検索	みその秘密 にせまる ～なぜ、み そによる食 中毒の報告 は0件なの か?～	楽器音の 分解と合 成	フラク ス法による人工 ビー結晶 の生成	論理的パズ ルの数学的 可能性及び 東大大学院 入試 マッチパズ ルの法則性 について	総得点
得票数	92	50	117	44	76	96	605

